

## 「平成29年度 青葉区寄り添い型学習支援事業業務委託契約」契約結果

平成29年度青葉区寄り添い型学習支援事業業務委託について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名 平成29年度青葉区寄り添い型学習支援事業業務委託契約
- 2 委託内容 生活保護世帯及び経済的困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ中学生に対する学習支援及び本事業を利用していた高校生等に対する中退防止支援
- 3 契約の相手方 株式会社トライグループ
- 4 契約金額 8,073,989円
- 5 契約日 平成29年4月1日

### 6 評価結果

提案者	評価点数	順位
株式会社トライグループ	365	1

### 7 評価基準・評価委員会開催経過等

- (1) 評価基準 別紙提案書評価基準のとおり
- (2) 評価委員会開催経過等

委員会開催日時及び開催場所	平成28年12月26日(月) 午前9時から10時15分まで 青葉区役所4階401会議室					
主な発言内容	委託仕様書上の統括スタッフ(常勤)やコーディネーターが提案書上誰に当たるかの確認 提案にあった自習室利用方法の確認 支援スタッフと子供や保護者とのトラブルの有無、対処方法の確認 支援スタッフの適性についての考え方の確認 支援スタッフの選考方法の確認 青葉区の現状と課題を踏まえて、提案者が考える青葉区における学習支援の課題、対応策の確認 指導科目について、複数科目への対応の確認 入試への関わり方についての考えを確認 初めての支援スタッフへの支援方法の確認 不適格な支援スタッフが出てきてしまった場合の対処方法の確認 学習指導要領について、支援スタッフへの指導の確認					
評価委員の出席状況	川合委員長	藤塚委員	樋田委員	岡本委員	築瀬委員	出席者数
「○」出席・「×」欠席	○	○	○	○	○	5/5
事務局	富田生活支援課長、小杉生活支援担当係長、保坂事務係長、佐藤					

- 8 問い合わせ先 青葉区役所生活支援課事務係 TEL045-978-2435

青葉区寄り添い型学習支援事業 提案書評価基準

評価の項目 ( ) 配点	評価対象	配点	配点の考え方		評価の着眼点
法人・団体等の概要・事業実績 5点	法人・団体等の実施事業の実績	5	A	加点要素 (5)	これまでの実績は、本事業の目的達成に十分か。また、事業を継続的に運営するにあたり、財務状況は、健全か。
			E	(0)	
業務実施方針  25点	複合的な課題を抱える子を持つ要支援世帯の現状や、その原因となる問題についての理解度	15	A	加点要素 (15)	青葉区の特性或課題を十分理解している。
			B	加点要素 (12)	現在までの法人の活動実績に基づき、現状の課題を理解している。
			C	基本 (9)	本事業の対象者を取巻く社会情勢の現状や、対象者が抱える課題について理解している。
			D	減点要素 (6)	現状や課題について、一部理解が不十分な点がある。
			E	(0)	現状や課題について、理解が不十分である。
	解決に向けた方向性	10	A	加点要素 (10)	青葉区の対象者へ対応した、具体的な解決への方向性が示されている。
			B	加点要素 (8)	法人の活動実績に基づき、具体的な解決への方向性が示されている。
			C	基本 (6)	本事業の目的及び内容を理解し、解決に向けた方向性が示されている。
			D	減点要素 (4)	目的及び内容について、一部理解していない部分がある。
			E	(0)	目的及び内容を全く理解していない。
業務実施内容と手法  40点	企画内容の妥当性	20	A	加点要素 (20)	青葉区独自の課題に対する企画内容が示されている。
			B	加点要素 (16)	学習支援に関して、法人独自の企画が示されている。
			C	基本 (12)	学習支援に関して、妥当な実施内容が示されている。
			D	減点要素 (8)	支援要素の一部が欠けている。 妥当でない内容が含まれている。
			E	(0)	企画内容の妥当性に欠ける。
	企画内容の実現性	20	A	加点要素 (20)	将来に渡って発展が見込まれる内容が示されている。
			B	加点要素 (16)	継続的に実現可能な内容が示されており、実現性も高い。
			C	基本 (12)	企画内容に具体的な方法や手順が示されており、実現性がある。
			D	減点要素 (8)	実現には課題がある。
			E	(0)	具体性がなく、実現性に乏しい。

評価の項目 ( ) 配点	評価対象	配点	配点の考え方	評価の着眼点
業務実施体制  30点	実施組織	15	A 加点要素 (15)	法人としてのバックアップ体制が確立している。 常勤1名が確保されている。 安定したボランティアの協力体制がある。
			B 加点要素 (12)	常勤の1名が確保されている。 具体的なボランティアの協力見込みがある。
			C 基本 (9)	①実現性の高い人材確保の考え方(資格・経歴)が示されている。 ②実現性の高い、ボランティアの活用の考え方と確保方法について示されている。
			D 減点要素 (6)	①②のどちらかが、欠けている。又は、内容が不十分である。
			E (0)	事業実施に十分な人材確保の考え方が示されていない。
	収支予算	10	A 加点要素 (10)	法人としてのバックアップがあり、財政基盤が安定した事業運営が見込める。
			B 加点要素 (8)	収入と支出のバランスが取れ、効率的な事業の執行が見込める。
			C 基本 (6)	収入と支出のバランスが取れている。 人件費、賃借料、事業費などの必要経費を見込み、実現可能なものとなっている。
			D 減点要素 (4)	収支が赤字になっている。 実現性が低い内容が示されている。
			E (0)	実現性がない。
	個人情報の取扱い	5	A 加点要素 (5)	法人内部での個人情報取扱の研修実績がある等、情報管理を組織的に取り組んでいる。
			B 加点要素 (4)	法人内部で個人情報取扱についての規程を作成している。
			C 基本 (3)	個人情報取扱の基礎的な考え方について理解している。
			D 減点要素 (2)	個人情報取扱の基礎的な考え方について、一部理解が不十分である。
			E (0)	個人情報取扱について、全く理解していない。
合 計				〇〇/100

【評価方法】

- 各評価項目について、A、B、C、D、Eの5段階評価とする。
- 配点が 5 点の場合は、A=5 点、 B=4 点、 C=3 点、 D=2 点、 E=0 点とする。  
配点が 10 点の場合は、A=10 点、 B=8 点、 C=6 点、 D=4 点、 E=0 点とする。  
配点が 15 点の場合は、A=15 点、 B=12 点、 C=9 点、 D=6 点、 E=0 点とする。  
配点が 20 点の場合は、A=20 点、 B=16 点、 C=12 点、 D=8 点、 E=0 点とする。
- E 評価のある者又は総合点が 60%に満たない者は受託候補者としな